

教職関連科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時
国語科教育論Ⅰ	国語科教育論Ⅰ	4	挽地 裕之	通年	水	2
国語科教育論Ⅱ	国語科教育論Ⅱ	4	小川 典昭	通年	水	1
英語科教育論Ⅰ	外国語教育や第二学習 動機づけの基本・基礎	4	リース・エイドリア ン	通年	月	4 ※後期は 2
英語科教育論Ⅱ	外国語教育の理論と実 践	4	リース・エイドリア ン	通年	月	3
フランス語科教育法Ⅰ	Langue et culture de la France contemporaine	2	メヴェル ヤン	5	月	2
フランス語科教育法Ⅱ	Langue et culture de la France contemporaine	2	メヴェル ヤン	6	月	2
地理歴史科教育法Ⅰ	高等学校地理歴史科地 理的分野に関する授業 研究	2	初澤 敏生	6	木	1
地理歴史科教育法Ⅱ	高等学校の歴史授業 の設計と実践	2	菊地 茂樹	5	木	1
宗教科教育法Ⅰ	岡正雄の日本宗教論 (1)	2	山田 仁史	5	金	1
宗教科教育法Ⅱ	岡正雄の日本宗教論 (2)	2	山田 仁史	6	金	1
ドイツ語科教育法Ⅰ	ドイツ語教育法	2	嶋崎 啓	5	水	1

科目名：国語科教育論 I / Teaching Theory of the Japanese Language I

曜日・講時：通年 水曜日 2 講時

Semester：通年， 単位数：4

担当教員：挽地 裕之

講義コード：LB93201， 科目ナンバリング：LHM-EDU901J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：国語科教育論 I

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of the Japanese Language I

3. 授業の目的と概要：

中学校や高等学校の国語科における授業づくりの実践的な技能を身につける。

国語の授業づくりの特質を踏まえて、教材研究や発問づくり、指導案の作成、模擬授業等を実績的に行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

国語科における指導案の作成や学習指導・評価等の知識や技能を身につけ、教壇実習ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 国語教育と国語科教育 国語科教育の周辺—国語科とは—
- 2 国語科教育以前① 授業 I 体験的教育論 —自分の受けた授業—
- 3 国語科教育以前② 授業 II 林竹二の授業
- 4 国語科教育以前③ 学び 学びの背景 —消費行動の影響力—
- 5 国語科教育の今日的課題① 学力調査等に見られる問題点と課題
- 6 国語科教育の今日的課題② 高度情報化等への対応
- 7 ことばの特徴や使い方について① 主に気になることば等を中心にして
- 8 ことばの特徴や使い方について② 主に我が国の言語文化を中心にして
- 9 学習指導要領の改訂の背景と改訂 改訂の背景と趣旨及び要点(現行との比較)
- 10 教材研究①分野別 文学的文章を中心に
- 11 教材研究②分野別 説明的文章を中心に
- 12 国語の技能①話すこと・聞くこと 基本的な考え方
- 13 国語の技能①書くこと 基本的な考え方
- 14 国語の技能①読むこと 基本的な考え方
- 15 学習指導要領の目標と内容① 初等教育を中心に
- 16 学習指導要領の目標と内容② 中学校を中心に
- 17 学習指導要領の目標と内容③ 高等学校を中心に
- 18 国語科教育の変遷① 明治・大正の国語教育史
- 19 国語科教育の変遷② 戦前の国語教育史
- 20 国語科教育の変遷③ 戦後の国語教育史
- 21 国語の技能②話すこと・聞くこと 指導の基礎・基本
- 22 国語の技能②書くこと 指導の基礎・基本
- 23 国語の技能②読むこと 指導の基礎・基本
- 24 情報機器の活用について① 情報機器活用の基礎・基本
- 25 情報機器の活用について② 話や文章に含まれた情報の扱い等
- 26 授業設計と学習指導案の作成 授業実践の基礎・基本
- 27 模擬授業の実践① 実技
- 28 模擬授業の実践② 実技
- 29 国語の授業づくりの課題と学習評価について 学級づくりと観点別評価等
- 30 国語の実践の方向と学習評価について 新たな時代の国語科教育の学び

8. 成績評価方法：

出席及び平常点(60%)、模擬授業(20%)、レポート(20%)

9. 教科書および参考書：

『中学校学習指導要領解説国語編』(文部科学省刊※最新刊)

『高等学校学習指導要領解説国語編』(文部科学省刊※最新刊)

『新たな時代の学びを創る中学校高等学校国語科教育研究』(全国大学国語教育学会編)

10. 授業時間外学習：

テキストや紹介された書籍を活用するなどして国語科教育の内容等について調べまとめる。紹介された書籍を積極的に読む。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：メールアドレス hikichi-hi568@td.myswan.ed.jp

科目名：国語科教育論Ⅱ／ Teaching Theory of the Japanese Language II

曜日・講時：通年 水曜日 1 講時

Semester：3, 単位数：4

担当教員：小川 典昭

講義コード：LB93101, 科目ナンバリング：LHM-EDU902J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：国語科教育論Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of the Japanese Language II

3. 授業の目的と概要：

中学校や高等学校の国語科における授業づくりの実践的な技能を身につける。

国語の授業づくりの特質を踏まえて、教材研究や発問づくり、指導案の作成、模擬授業等を実践的に行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

国語科における指導案の作成や学習指導・評価等の知識や技能を身につけ、教壇実習ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：教師の魅力～国語科が育む生きる力～

第2回：国語の授業づくりの特質について①（高等学校国語教室の実践から）

第3回：国語の授業づくりの特質について②（中学校国語教室の実践から）

第4回：国語の授業づくりの特質について③（小学校国語教室の実践から）

第5回：教材の特性と授業設計について①（言葉の特性等に関する教材を中心に）

第6回：教材の特性と授業設計について②（話すこと・聞くこと・書くことに関する教材を中心に）

第7回：教材の特性と授業設計について③（読むことに関する教材を中心に）

第8回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて①（言葉の特性等に関する教材を中心に）

第9回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて②（話すこと・聞くことに関する教材を中心に）

第10回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて③（書くことに関する教材を中心に）

第11回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて④（読むことに関する教材を中心に）

第12回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」①（学習形態の機能と授業設計）

第13回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」②（教科横断授業の可能性）

第14回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて①（情報機器の活用）

第15回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて②（読書指導）

第16回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて③（弁論指導）

第17回：学習指導案の構成について

第18回：授業設計と学習指導案の作成について①（論説・評論文教材を中心に）

第19回：授業設計と学習指導案の作成について②（小説教材を中心に）

第20回：模擬授業の実施①（A グループ）

第21回：模擬授業の実施②（B グループ）

第22回：模擬授業の実施③（C グループ）

第23回：模擬授業の実施④（D グループ）

第24回：模擬授業の実施⑤（E グループ）

第25回：模擬授業の振り返りと授業改善について①（自己評価を中心に）

第26回：模擬授業の振り返りと授業改善について②（相互評価を中心に）

第27回：学習評価の実際と課題について①（教育評価の基礎・基本）

第28回：学習評価の実際と課題について②（評価の実際）

第29回：国語科の実践研究の動向と課題について①（高等学校の実践から）

第30回：国語科の実践研究の動向と課題について②（中学校の実践から）

8. 成績評価方法：

平常点（50％）・模擬授業（30％）・レポート（20％）

9. 教科書および参考書：

『中学校学習指導要領解説国語編』（文部科学省刊）※最新刊

『高等学校学習指導要領解説国語編』（文部科学省刊）※最新刊

10. 授業時間外学習：

説明・評論文や小説等の教材研究、学習指導案づくりなどを各自事前に行う。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：ogawa-no042@td.myswan.ed.jp

科目名：英語科教育論 I / Teaching Theory of English I

曜日・講時：通年 ※前期：月曜日 4 講時、後期：月曜 2 講時

semester：通年、単位数：4

担当教員：リース・エイドリアン

講義コード：LB91401、科目ナンバリング：LHM-EDU903J、使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：外国語教育や第二学習動機づけの基本・基礎
2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of English I
3. 授業の目的と概要：
 - ・外国語教育や第二学習動機づけの基本・基礎について理解を深める。
 - ・外国語学習動機づけの基本について理解を深める。
 - ・英語科授業の模擬授業を行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)
5. 学習の到達目標：
 - ・英語科教育の基本理念、目標、学習内容、指導方法、評価等を理解し、説明できる。
 - ・外国語学習動機づけに関する話題や課題についてディスカッションができる。
 - ・模擬授業を通して、基本的な指導技術を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 外国語教育理論や外国語学習動機づけ理論について学び、模擬授業や様々な問題に関するディスカッションを行う。

前期

- Week 1 外国語教育の基本、模擬授業のやり方や評価
- Week 2 Background to teaching English as a Foreign Language
- Week 3 A general approach to teaching English
- Week 4 Presenting new language items
- Week 5 Organizing language practice
- Week 6 Handling vocabulary
- Week 7 Developing spoken communication skills
- Week 8 Developing written communication skills
- Week 9 Review and remedial work
- Week 10 Planning and managing classes
- Week 11 Working with a course book
- Week 12 Teaching aids and materials
- Week 13 Testing and evaluation
- Week 14 Development in teaching English
- Week 15 Review

後期

- Week 1 Course Review. Background to motivation
- Week 2 The growth and fixed mindsets
- Week 3 What can we learn from the growth mindset in sports?
- Week 4 Parents, teachers, and coaches: Where do mindsets come from?
- Week 5 Mindsets in second language acquisition
- Week 6 Choosing words, choosing worlds
- Week 7 Learning Worlds: People, performing, and learning
- Week 8 Changing learning narratives
- Week 9 "Good Job!" Feedback, praise, and other responses
- Week 10 Any other ways to think about that? Inquiry, dialogue, uncertainty, and difference
- Week 11 Social imagination
- Week 12 Moral agency: Moral development and civic engagement
- Week 13 Thinking together, working together
- Week 14 Choice worlds
- Week 15 Review

8. 成績評価方法：

- ①小テスト (30%)、②ディスカッション参加 (20%)、③模擬授業 (30%)、④プレゼンテーション (20%)

9. 教科書および参考書：

前期
教科書

Davies, P. (2000). Success in English Teaching. ISBN-13: 978-0194421713

後期
教科書

Johnston, P. (2012). Opening Minds: Using Language to Change Lives. ISBN-13: 978-1571108166

参考書

Dweck, C. (2017). Mindset - Updated Edition: Changing The Way You think To Fulfil Your Potential. ISBN-13: 978-1472139955

1 0. 授業時間外学習：

教科書を読んで、ディスカッションの準備や理解できるところとそうでないところを明確にした上で、授業に臨むこと。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他：英語科教育論 I は英語と日本語の両方で行われる。

科目名：英語科教育論Ⅱ／ Teaching Theory of English II

曜日・講時：通年 月曜日 3講時

Semester：通年， 単位数：4

担当教員：リース・エイドリアン

講義コード：LB91301， 科目ナンバリング：LHM-EDU904J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：外国語教育の理論と実践

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of English II

3. 授業の目的と概要：

- ・英語科教育の基本理念、目標、学習内容、指導方法、評価等に関する理解を深める。
- ・英語科授業の模擬授業を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

- ・英語科教育の目標、学習内容、指導方法、評価等を理解し、説明できる。
- ・模擬授業を通して、基本的な指導技術を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

外国語教育理論について学び、模擬授業や様々な問題に関するディスカッションを行う。

Week 1 コースの説明や学習指導要領

Week 2 外国語教育の基本、模擬授業のやり方や評価

Week 3 Chapter 1 - Getting Started

Week 4 Chapter 2 - A Century of Language Teaching

Week 5 Chapter 3 - Contextualizing Communicative Approaches

Week 6 Chapter 4 - Teaching by Principles

Week 7 Chapter 5 - Agency in Language Learning

Week 8 復習 - Chapters 1-5

Week 9 Chapter 6 - Teaching Across Age Levels

Week 10 Chapter 7 - Teaching Across Proficiency Levels

Week 11 Chapter 8 - Cultural and Sociopolitical Contexts

Week 12 復習 - Chapters 6-8

Week 13 Chapter 9 - Curriculum and Course Design

Week 14 Chapter 10 - Lesson Planning

Week 15 Chapter 11 - Techniques, Textbooks, and Materials

Week 16 Chapter 12 - Technology in Language Learning and Teaching

Week 17 Chapter 13 - Creating an Interactive Classroom

Week 18 Chapter 14 - Classroom Management

Week 19 復習 - Chapters 9-14

Week 20 Chapter 15 - Teaching Listening

Week 21 Chapter 16 - Teaching Speaking

Week 22 Chapter 17 - Teaching Reading

Week 23 Chapter 18 - Teaching Writing

Week 24 Chapter 19 - Teaching Grammar and Vocabulary

Week 25 復習 - Chapters 15-19

Week 26 Chapter 20 - Language Assessment: Principles and Issues

Week 27 Chapter 21 - Classroom-Based Assessment

Week 28 Chapter 22 - Teacher Development

Week 29 Chapter 23 - Teachers for Social Responsibility

Week 30 復習 - Chapters 20-23

8. 成績評価方法： ①小テスト (40%)、②ディスカッション参加 (20%)、③模擬授業 (40%)

9. 教科書および参考書：

Brown, H. D., & Lee, H. (2015). Teaching by principles: An interactive approach to language pedagogy (4th ed.). White Plains, NY: Longman.

10. 授業時間外学習：

各チャプターに関するビデオを見ながら教科書を読んで、ディスカッションの準備や理解できるところとそうでないところを明確にした上で、授業に臨むこと

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：英語科教育論 II は英語と日本語の両方で行われる。

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

科目名：フランス語科教育法 I / Teaching Method of French Studies I

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

講義コード：LB51209, 科目ナンバリング：LHM-EDU909J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：Langue et culture de la France contemporaine

2. Course Title (授業題目)：Langue et culture de la France contemporaine

3. 授業の目的と概要：

Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :

- la lecture de divers types de textes
- l'audition de documents sonores
- une analyse de documents visuels
- des discussions sur des sujets de société
- des jeux de rôles

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :

- la lecture de divers types de textes
- l'audition de documents sonores
- une analyse de documents visuels
- des discussions sur des sujets de société
- des jeux de rôles

5. 学習の到達目標：

A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :

- d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
- d'augmenter les capacités d'argumentation
- d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.

6. Learning Goals(学修の到達目標)

A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :

- d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
- d'augmenter les capacités d'argumentation
- d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Expression orale et écrite
- 2) Expression orale et écrite
- 3) Expression orale et écrite
- 4) Expression orale et écrite
- 5) Expression orale et écrite
- 6) Expression orale et écrite
- 7) Expression orale et écrite
- 8) Expression orale et écrite
- 9) Expression orale et écrite
- 10) Expression orale et écrite
- 11) Expression orale et écrite
- 12) Expression orale et écrite
- 13) Expression orale et écrite
- 14) Expression orale et écrite
- 15) Expression orale et écrite
- 16) Projection de film. Analyse et discussion

8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. La participation à l'oral compte pour 50 %. L'évaluation sera aussi écrite (rédaction de plusieurs textes brefs).

9. 教科書および参考書：

Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.

10. 授業時間外学習：

Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：フランス語科教育法Ⅱ／ Teaching Method of French Studies II

曜日・講時：後期 月曜日 2講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

講義コード：LB61206, 科目ナンバリング：LHM-EDU910J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：Langue et culture de la France contemporaine

2. Course Title (授業題目)：Langue et culture de la France contemporaine

3. 授業の目的と概要：

Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :

- la lecture de divers types de textes
- l'audition de documents sonores
- une analyse de documents visuels
- des discussions sur des sujets de société
- des jeux de rôles

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :

- la lecture de divers types de textes
- l'audition de documents sonores
- une analyse de documents visuels
- des discussions sur des sujets de société
- des jeux de rôles

5. 学習の到達目標：

A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :

- d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
- d'augmenter les capacités d'argumentation
- d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.

6. Learning Goals(学修の到達目標)

A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :

- d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
- d'augmenter les capacités d'argumentation
- d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Expression orale et écrite
- 2) Expression orale et écrite
- 3) Expression orale et écrite
- 4) Expression orale et écrite
- 5) Expression orale et écrite
- 6) Expression orale et écrite
- 7) Expression orale et écrite
- 8) Expression orale et écrite
- 9) Expression orale et écrite
- 10) Expression orale et écrite
- 11) Expression orale et écrite
- 12) Expression orale et écrite
- 13) Expression orale et écrite
- 14) Expression orale et écrite
- 15) Expression orale et écrite
- 16) Projection de film. Analyse et discussion

8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. La participation à l'oral compte pour 50 %. L'évaluation sera aussi écrite (rédaction de plusieurs textes brefs).

9. 教科書および参考書：

Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.

10. 授業時間外学習：

Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：地理歴史科教育法 I / Teaching Method of Geography and History Studies I

曜日・講時：後期 木曜日 1 講時

Semester : 6, 単位数 : 2

担当教員：初澤 敏生

講義コード：LB64102, 科目ナンバリング：LHM-EDU913J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：高等学校地理歴史科地理的分野に関する授業研究

2. Course Title (授業題目): Class study about the geography field of studies of geography and history in high school

3. 授業の目的と概要：

高等学校地理歴史科の学習指導要領について解説するとともに、授業案の作成や授業の実践に関する基礎的な技能を身につけられるようにする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

I comment on a course of studies of geography history department in high school and teach a basic skill about the practice of making the class and the class plan.

5. 学習の到達目標：

高等学校地理歴史科の目的と構成などを理解し、授業実践に必要な各種技能を身に付け、教材研究に基づく授業案を作成し、模擬授業を実践できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

You can understand a purpose and constitution of studies of geography history in high school.

You can acquire various skills necessary for class practice.

You can make class plan based on the teaching materials study.

You can practice a sham class.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：高等学校社会科・地理歴史科の概要（目標、内容等）とその変化について

第2回：高等学校地理歴史科の授業案の構成と作成上の留意点について

第3回：高等学校社会科・地理歴史科に関する実践とその分析

第4回：高等学校社会科・地理歴史科における評価法について

第5回：高等学校地理歴史科 地理総合の学習内容と指導上の留意点等について（1）
文化と現代世界の諸課題を中心に

第6回：高等学校地理歴史科 地理総合の学習内容と指導上の留意点等について（2）
地域学習と防災を中心に

第7回：高等学校地理歴史科 地理探究の学習内容と指導上の留意点等について（1）系統地理を中心に

第8回：高等学校地理歴史科 地理探究の学習内容と指導上の留意点等について（2）地誌を中心に

第9回：高等学校地理歴史科 地理総合の授業案づくりと情報機器及び教材の効果的な活用、評価について

第10回：高等学校地理歴史科 地理探究の授業案づくりと情報機器及び教材の効果的な活用、評価について

第11回：模擬授業（1） 地理総合「現代世界の諸課題」について

第12回：模擬授業（2） 地理総合「災害と防災」について

第13回：模擬授業（3） 地理探究「系統地理」について

第14回：模擬授業（4） 地理探究「地誌」について

第15回：模擬授業の振り返りと改善案の作成

8. 成績評価方法：

模擬授業の評価（60%）、授業案の評価（20%）、授業中に課す小レポートの評価（20%）

9. 教科書および参考書：

文部科学省『高等学校指導要領解説 地理歴史編』（平成 30 年告示）

10. 授業時間外学習：

本授業では時間外に作成する各種レポートや授業案などが評価の対象となる。

また、模擬授業の準備はグループ単位で基本的に授業時間外に行う。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

12. その他：

科目名：地理歴史科教育法Ⅱ／ Teaching Method of Geography and History Studies II

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

Semester：5, 単位数：2

担当教員：菊地 茂樹

講義コード：LB54102, 科目ナンバリング：LHM-EDU914J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目： 高等学校の歴史授業の設計と実践

2. Course Title (授業題目) : Teaching Method of History Study

3. 授業の目的と概要：

社会科教育の歴史及び教育課程の変遷を踏まえ、地理歴史科誕生の意義を明らかにするとともに、各科目の基本的な内容や特質を理解する。さらに、教材研究の仕方や学習指導案の作成など授業実践のための基礎を学ぶ。そのうえで、学習指導案を作成・検討し、グループ単位で模擬授業を行うことによって、授業構成や発問・板書など教育実習に向けた実践的な指導法や心構えを身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course outlines a history of social studies and provides an overview of changes in the corresponding curriculum in order to elucidate the purpose and meaning of integrating the subjects of history and geography. It also introduces basic contents and specific traits of each subject. Students are expected to acquire basic teaching abilities and skills through this course: they should learn how to develop educational materials, compile a teaching plan, etc. Students will also be required to develop and revise their own teaching plans and conduct mock lessons in groups. They will thus master practical guidance methods and skills needed in classroom, from organizing a lesson, to questioning strategies, to the use of the blackboard.

5. 学習の到達目標：

①学習指導要領の変遷を踏まえた地理歴史科の目的、内容を理解する。

②歴史系科目の構造、内容、特質を把握する。

③各自の専門科目の学習指導案を作成する。

④模擬授業をとおして授業構成力や実践力を高めるとともに、教育実習に向けての心構えを身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1) Students will learn the purpose and contents of an integrated course of history and geography; they will also understand the evolution of educational guidance principles leading to this integration.

2) Students will understand structure, content and specifics of various history subjects.

3) Each student will develop a teaching plan corresponding to his or her academic major.

4) Teaching-simulation exercises will improve students' ability to structure and conduct lessons and help them develop a practice-oriented educator mindset.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業に関するガイダンスと社会科の存在意義

2. 教育課程の変遷と社会科の再編成

3. 世界史A・Bの目標と内容（現行課程）

4. 日本史A・Bの目標と内容（現行課程）

5. 新学習指導要領の要点

6. 歴史総合の目標と内容（新課程）

7. 授業と学習指導案の関係（VTR視聴）

8. 教材研究の意義と方法

9. 学習指導案の書き方

10. 学習指導案の講評（世界史A・B）

11. 学習指導案の講評（日本史A・B）

12. 模擬授業と授業評価①（演習）

13. 模擬授業と授業評価②（演習）

14. 模擬授業と授業評価③（演習）

15. 模擬授業と授業評価④（演習）

8. 成績評価方法：

模擬授業の評価（40%）、学習指導案の評価（30%）、小テスト（20%）、授業への参加・態度（10%）。

9. 教科書および参考書：

文部科学省『学習指導要領解説 地理歴史編』（平成 31 年 3 月）必携のこと。

10. 授業時間外学習：

授業時間外に学習指導案の作成、模擬授業づくりの準備を行う。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教科教育法 I / Teaching Method of Religions Studies I

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

Semester：5, 単位数：2

担当教員：山田 仁史

講義コード：LB35101, 科目ナンバリング：LHM-EDU915J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：岡正雄の日本宗教論 (1)

2. Course Title (授業題目) : Masao Oka's thesis on Japanese religion

3. 授業の目的と概要：

民族学者・岡正雄 (1898-1982) は戦前ウィーンにおいて『古日本の文化層』を著し、日本の宗教について新たな知見を提出した。これは皇国史観とは相容れない内容をふくみ、戦後日本の宗教教育にも直接間接に影響を及ぼしたと見なすことができる。本授業では、岡のドイツ語原文を読解することから内容を考察し、戦後日本の宗教教育について再考したい。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

岡正雄のドイツ語を精確に読解し、戦後日本の宗教観・宗教教育について考察を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

毎回、担当者による邦訳の発表とディスカッションを行う。

8. 成績評価方法：

担当部分の発表 (50%) と討論への参加状況 (50%) により評価する。

9. 教科書および参考書：

テキストは、Oka, Masao, Kulturschichten in Alt-Japan, 2 Bde. Bonn: Bier'sche Verlagsanstalt, 2012. (Kap. 5.3 Religion)。入手方法は初回に指示します。

10. 授業時間外学習：

岡の独文読解と和訳に精力的に取り組んでください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教科教育法Ⅱ／ Teaching Method of Religions Studies II

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

semester：6, 単位数：2

担当教員：山田 仁史

講義コード：LB45102, 科目ナンバリング：LHM-EDU916J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：岡正雄の日本宗教論 (2)

2. Course Title (授業題目)：Masao Oka's thesis on Japanese religion

3. 授業の目的と概要：

民族学者・岡正雄 (1898-1982) は戦前ウィーンにおいて『古日本の文化層』を著し、日本の宗教について新たな知見を提出した。これは皇国史観とは相容れない内容をふくみ、戦後日本の宗教教育にも直接間接に影響を及ぼしたと見なすことができる。本授業では、岡のドイツ語原文を読解することから内容を考察し、戦後日本の宗教教育について再考したい。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

岡正雄のドイツ語を精確に読解し、戦後日本の宗教観・宗教教育について考察を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

毎回、担当者による邦訳の発表とディスカッションを行う。

8. 成績評価方法：

担当部分の発表 (50%) と討論への参加状況 (50%) により評価する。

9. 教科書および参考書：

テキストは、Oka, Masao, Kulturschichten in Alt-Japan, 2 Bde. Bonn: Bier'sche Verlagsanstalt, 2012. (Kap. 5.3 Religion)

10. 授業時間外学習：

岡の独文読解と和訳に精力的に取り組んでください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：ドイツ語科教育法 I / Teaching Method of German Studies I

曜日・講時：前期 水曜日 1 講時

semester：5, 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

講義コード：LB53103, 科目ナンバリング：LHM-EDU905J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：ドイツ語教育法

2. Course Title (授業題目)：Teaching Method of German Language

3. 授業の目的と概要：

初歩のドイツ語学習の教材のあり方を考える。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

In diesem Unterricht handelt es sich um die Lehrmittel, die Lehrmittel für die Anfänger des Deutschlernens wirksam sind.

5. 学習の到達目標：

初歩のドイツ語学習にとってどのような教材が適切であるかを知る。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Ziel des Unterrichts ist, dass man versteht, welche Lehrmittel für die Anfänger des Deutschlernens wirksam sind.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 教材研究(1)

3 教材研究(2)

4 教材研究(3)

5 教材研究(4)

6 教材研究(5)

7 教材研究(6)

8 教材研究(7)

9 教材研究(8)

10 教材研究(9)

11 教材研究(10)

12 教材研究(11)

13 教材研究(12)

14 教材研究(13)

15 教材研究(14)

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。

10. 授業時間外学習：

具体的な事項の配置や例文の作成が求められる。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

